

## 三郷市入退院支援ルールについて

## 1. 今までの経緯

入退院支援ルールは、病院への入退院時に医療介護関係者（主に病院とケアマネ）がスムーズに連携が取れるように、平成31年に協議会によって共通ルールとして策定、運用されました。

令和3年に行った運用経過アンケートの結果から令和4年に評価を行い、医療介護関係者に周知されているが、実際の活用の割合が低いとされています。

入退院支援ルールの課題「どうしたら、活用を推進することができるか」について令和6年にアンケートを実施しました。これは解決すべき課題抽出を行うことにより、課題の原因、背景を探り、対策対象をより具体化させることを目的としています。令和7年現在、このアンケート結果を集計し、課題分類した表を作成しました。

## 【現状分析と課題抽出、具体案の流れ】



## 2. 「入退院ルールの課題分類表」の説明

(1) 「課題抽出データ」以下の2つの内容を集計しています。

- ① 協議会の各専門職代表委員からの現状とニーズの意見 表示色：(黒色)
- ② 医療介護関係者からのアンケート 表示色：(赤色・青色)

(2) 「課題分類」課題を以下の3つに分類、分析しています。

- ① ルール内容について課題

・現状を知り、ニーズに添うルールやシートの見直しと変更を行う事で活用しやすくする。

- ② 使い方、運用についての課題（各事業所の運用の仕方）

・各事業所、関係者の使い方、運用方法を知り、ニーズに添う使い方、運用の見直しと変更を考える事で啓発やルールの変更等の対策を行い、活用しやすくする。

- ③ ルール活用の啓発が足りない

・現状を知り啓発が足りない所を洗い出し、啓発のポイントを明確にする事で啓発やルールの変更等の対策を行い、活用しやすくする

(3) 「ルール」現在のルールと具体案

- ・現在のルールと課題に対する具体案を記載しています。
- ・入退院ルール作成に直接関係ない課題はカッコで示している。(例：在宅への理解不足等)

### 3. 分析と今後の方針

入退院ルール課題分類表を分析してみますと、ルールの変更というより、まだまだルール理解が足りないのではないかというアンケート集計結果でした。

ルールの周知以外の課題も振り返ると連携するにあたって、各事業所の現実の事情もあり、各関係者への配慮や努力義務によるところが大きいと感じます。

現状に沿って作成することが難しい内容は、どのような課題が各関係者にあるかを周知することも1つの案かもしれません。

以上の事から、入退院ルールの改善、促進における今後の活動具体案としてルールの周知を中心に一部のルール変更検討を提案したいです。

最期に、市外関係者との連携は大きな課題ですが、各自治体が同時にルールの浸透を進めている所なので、今後の改善を期待して当初の予定通り、まずは三郷市内の事から始めていくことといたします。

※課題分類表の分析についてのご意見、今後の方針について、協議して頂きたい  
と思います。

#### 【協議内容】（資料1：「課題分類表」）

##### ● 課題分類表の分析についてのご意見や今後の方針、具体的な活動案など

課題分類表を参考に委員のご意見を求め、改善に努めたいと思います。